

令和6年度 地歴科「東西交流史」シラバス

単位数	2単位	学科・学年・学級	普通科 3年 A～E 組
教科書	『歴史総合』 (実教出版)	副教材等	『明解歴史総合図説シンフォニア』 (帝国書院)

1 学習の到達目標

社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

2 授業内容

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4 5	第1編 近代化と私 たち 第4章 帝国主義の 時代	第1編近代化と私たち 第4章 帝国主義の時代 15. 朝鮮を巡る国際関係 16. 日清戦争と東アジア 17. 日露戦争と東アジア 18. 日本の産業革命	<ul style="list-style-type: none"> ・ 17世紀に成立した日本の1880年代から90年代にかけての朝鮮半島進出について考える。 ・ 日清戦争後の日本人の意識の変化について考える。 ・ 日露戦争と日本の韓国侵略について考える。 	行動観察 課題プリント ノート レポート 小テスト 中間考査
6 7	第2編 国際秩序の 変化や大衆 化と私たち 第5章 第一次世界 大戦と大衆 化社会 第6章 経済危機と 第二次世界 大戦	21. 米騒動とデモクラシー 22. アジアの民族運動 25. ひろがる社会運動と 普通選挙の実現 28. 満州事変と軍部の台頭 29. 日中戦争と戦時体制	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第二次世界大戦のはじまりについて考える。 ・ 第二次世界大戦の展開をみる。 ・ 国際連合の成立と組織の内容について考える。 ・ GHQの政策と日本国憲法の制定について考える。 ・ 朝鮮戦争など冷戦が対日占領政策に与えた影響を考える。 	行動観察 課題プリント ノート レポート 小テスト 学期末考査
9 10	第6章 経済危機と 第二次世界 大戦	30. 第二次世界大戦の勃発 31. 第二次世界大戦の終結 32. 国際連合の成立と冷戦 33. 日本占領と日本国憲法 34. 朝鮮戦争と日本	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第二次世界大戦の始まりについて考える。 ・ 第二次世界大戦の展開をみる。 ・ 国際連合の成立と組織の内容について考える。 ・ GHQの政策と日本国憲法の制定について考える。 ・ 朝鮮戦争など冷戦が対日占領政策に与えた影響を考える。 	行動観察 課題プリント ノート レポート 小テスト 中間考査

1 1	第3編 グローバル 化と私たち 第7章 冷戦と脱植 民地化	35. 植民地と独立 36. 米ソ陣営の動揺 37. 日本の国際社会復帰と 高度経済成長 39. 緊張緩和と世界経済	<ul style="list-style-type: none"> 植民地の独立について考える。 ベトナム戦争とアメリカ社会との関係を考える。 日本の高度経済成長期を考える。 石油危機と変動相場制実施、アジアの経済成長について考える。 緊張の緩和と再燃について考える。 	行動観察 課題プリント ノート レポート 小テスト 学期末考査
1 2	第8章 多極化する 世界	学期末考査		
1	第8章 多極化する 世界 第9章 グローバル 化と現代社 会	40. 日本の経済大国化 41. 地域紛争と対立 42. 国際秩序の変容	<ul style="list-style-type: none"> 日本の経済大国化と国際的地位の向上について考える。 冷戦後の世界、民族の対立を考える。 中国・インドの台頭について考える。 	行動観察 課題プリント ノート レポート 小テスト 学年末考査
		学年末考査		

3 評価の観点

知識・技能	社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して広い視野に立ちグローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を身に付けている。
思考・判断・表現	東西交流の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりしている。
主体的に学習に取り組む態度	東西交流の歴史の変化に関わる諸事象について、国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとしている。

4 評価の方法

<ul style="list-style-type: none"> 中間、期末考査の得点が基本。 他にノート・プリント等の提出、授業への取組姿勢、出欠状況、等の結果を踏まえ、総合的に3つの評価の観点に従い評価する。 <p>*夏休み・冬休みの課題を出すこともある。</p>

5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など）

<p>歴史は単なる暗記科目ではありません。世界の中での日本や各国の関係性について知り、考え、これから先のことを予想するなど様々なことをする科目です。受け身で授業を受けるのではなく、主体的に考えて授業に取り組んでください。新たな知識からこれまでになかった視点を身に付けることや、友人の意見を参考にしながら前向きに取り組むことを期待しています。</p>
